

8-3 各対象校における運営状況

学校名:	No. 2 School	地区:	スパートル
校長:	Mr. BADANSUREN	所属ホロ:	第7ホロ
学区(ホロ):	第6ホロ、第7ホロ、第8ホロ		



生徒数:	2560	キャパシティ:	—	設立年度:	1978年
教員数:	90	職員数:	23	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	68
使用教室数:	35	1教室当り生徒数:	45-55人		
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか? :	いる		
授業時間:	1部: 8:00-12:30 (3-⑦, 4-⑦, 7-⑧, 8-⑦, 9-④, 10-④) 2部: 13:00-18:00 (1-⑦, 2-⑦, 5-⑧, 6-⑨) 3部:				
施設状況:	・過密のため、ロビー、家庭科室などを普通教室として転用している。				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	256	248	242	210	273	312	301	226	141	162
クラス/担任数:	7	7	7	7	8	9	8	7	4	4
越境通学者:	16	12	28	19	28	32	17	12	9	5
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	2,101	2,158	2,214	2,301	2,326
クラス数:	61	62	64	65	67
教員数:	83	85	87	88	90

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
4.7%	42.2%	53.1%	0.0%

準備コース:	一ヶ月。17:00-20:00に実施。コース受講者の90%が入学。
入学制限:	教室不足のため、入学制限有り。先着順に受け入れ、所属ホロ合せて約100人の入学を断り、所属ホロの子どもはNo. 3 Schoolへ行ってもらった。クラス分け試験を実施。

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	98%(90%が公立大学、UB市内)		

【教員】

教員数:	90
女性教員:	74
男性教員:	16

	有資格	無資格	計
クラス担任:	68	0	68
教科担任:	22	0	22
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	1人
平均応募倍率:	5倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	25-30人	設置状況:	教科	設置学年・クラス数
選考方法:	選抜試験実施		回収状況:	100%	1 数学	5-①, 6-①, 7-①, 8-①, 9-①
学費徴収額:	20,000Tg~40,000Tg(各クラスの必要額に応じて)			2		
学費用途:	特別クラス教員の給与(20%) 教材(80%)			3		
備考:	6年の数学の特別クラスには追加で外国語の特別授業があり、半分ずつ英語とロシア語のグループに分かれる			4		
				5		

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年10月設立)	施設メンテナンスの実施状況:
ミーティング:	年2回+校長を交えて年1回	【清掃】
メンバー:	9名:保護者(2)、教員(5)、区役所(1)、選挙事務所に勤める住民(1)	・清掃員10名が共用スペースを清掃
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・教室清掃は生徒(3年生以上)が毎日各シフト終了後実施
保護者会:	学校全体+各クラス	・清掃用具は保護者が用意する。
ミーティングの頻度:	決まりはなく、問題があると集まって解	【施設改修等】
		・小規模改修(家具の修理・調達、壁・床のペンキ等)は保護者の協力により毎年実施
		・1年生の保護者がトイレの改修を実施した
		・省の予算がおりました時は屋根・床の改修、配管の修理を行なうが、慢性的に不足

【通学状況】

生徒:	平均5-10分、最大バス30分
教員:	80%が学校の近くから通勤
通学状況:	スパートルの第6、第7、第8ホロ
学区外通学(理由):	約5%(以前学区ホロに住んでいた、特別クラス)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

<p style="text-align: center;">教員ミーティング:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体ミーティング: 2週間に1回 ・学年・学科別ミーティング: 月に1回 ・2部制の授業終了後、または土曜日に実施 ・教室を使用
<p style="text-align: center;">地域住民・企業による施設利用の有無:</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業のミーティング用に施設の貸し出し(有料) ・特別学校による体育館の使用(無料)

【援助履歴】

<p style="text-align: center;">保護者・地域住民・企業等のサポート:</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の保護者の支援によるトイレの改修 ・卒業生の援助による物資援助(教材、配管) ・地元の企業による様々な援助(生徒遠足の参加費、乗物貸し出しなど)

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	なし	生徒数:	—
実施主体:	—	クラス数:	—
実施対象:	—		
時間帯:	—		
備考:	—		

施設利用料の徴収:	3000Tg/時間
-----------	-----------

<p style="text-align: center;">他トナー・NGOによる協力:</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・WHO: 保健教育、歯科治療機材供与 ・UNICEF: 7-10年生を対象にした性教育(教科書供与など) ・ADB: 展示用の教材供与(7年生以上、科学、植物、物理) ・ソロス基金: 教材供与、教授法改善、生徒会活動促進(コピー機、PC、カメラなど)

【周辺地域状況】

周辺校:	3番校(800m)	幼稚園:	2	未就学児童:	—
生活状況:	生活レベル: 中(会社員が多い) 団地は民営団地が多い。				
人口状況:	地方化からの流入により、増加している。また周辺でアパート建設予定がある。また3つのホコに対して、学校は1つしかないのこれから過密はますます激しくなると思われる。	治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯なく暗いため、それほどよくない ・道をたくさん横断する必要がある ・1年生は保護者が送り迎えする 		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員	
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・過密により教室が狭い ・3人掛けだと座りにくい ・座席が遠いと、先生の声が聞こえないことがある。 ・黒板の質が悪く、板書された字がよく見えない。 ・冬は暖房が効かずに寒く、コートのまま授業を受けることが多い。 ・クロークはある教室とない教室がある。またフック不足により、窓際に置くこともある 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室が不足し、過密がひどい ・過密がひどく、生徒一人一人に目が行き届かない。 ・机と椅子不足(ほとんどが3人掛けで座っている) ・2部制のため、一部の生徒は教室に残って勉強したりできない ・教室の換気が悪く、生徒の健康に悪影響を与えている。(アレルギー、風邪など) 	
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアがないし、汚くて入れない ・男女一緒に嫌(小学校用) ・断水が多く汚いので、使わないようにしている ・タバコを吸う生徒がいる ・大勢の人が利用するのでアジア式トイレの方が望ましい(洋式は汚くて座れないから) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用のトイレはないため、授業中や授業の無い時に生徒用トイレを使用する ・男女共有で現在3つの使用可能なトイレを800人が使用している ・保護者からも苦情が多く、1年生の保護者が改修に協力することになった 	
3. 教員室	X		
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・スファートル地区外から通学している生徒1名(引越しのため)。残りは全員徒歩5-20分。 ・同ホコから他校に行く友達多数(数学の特別クラスで有名な1, 11番校、家から近い3番校、私立など) ・8年生8名のうち、5名が転校生。生徒数は増加している。 	X	
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・2部制授業終了時の帰りは暗いし、酔っ払いもいるので怖い(4年生) ・家が近いので、特に危険を感じたことはない(8年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は通学時に多くの道を横切る必要があるため危険 	
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・実験室がないので、化学は実験したことない(8年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は市の中心部にあるため、大気汚染がひどく窓を開けることができない。 ・2部制のためクラブ活動を行うことができない ・体育館は老朽化が激しく、床が落ちてきている。 ・図書閲覧室がない。 ・音楽室には、ピアノも楽器もない。 	

学校名:	No. 3 School	地区:	スフートル
校長:	Ms. SARANGEREL	所属和:	第9和
学区(和):	第9、第10、第11和、(第8和の半分)、ゲル集落		



生徒数:	2300	キャンシティ:	920	設立年度:	1921
教員数:	70	職員数:	21	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	51
使用教室数:	31	1教室当り生徒数:	45-56人		
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間:	1部: 8:00-13:00 (5-⑥, 6-⑥, 7-⑥, 8-⑥, 9-③, 10-④) 2部: 13:30-18:00 (1-⑤, 2-⑤, 3-⑤, 4-⑤) 3部:				
施設状況:	・合計13室を教室として転用(食堂、ロビー、男子家庭科室、閲覧室など) ・教室不足のため、土曜日に授業あり				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	220	234	200	220	235	240	235	288	157	199
クラス/担任数:	5	5	5	5	11	10	13	13	13	12
越境通学者:	27	42	18	22	26	35	49	40	38	48
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	2,235	2,249	2,240	2,263	2,284
クラス数:	49	50	50	52	52
教員数:	73	71	71	72	72

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
6.8%	50.0%	43.2%	0.0%

準備コース:	一ヶ月。17:00-20:00に実施。コース受講者の90%が入学。
入学制限:	学区外の生徒は余裕があった時のみ受け入れる。クラス分けの試験は実施していない。

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	60~70%
大学進学	98~100%(70%が公立大学、UB市内)		

【教員】

教員数:	70
女性教員:	62
男性教員:	8

	有資格	無資格	計
クラス担任:	51	0	51
教科担任:	19	0	19
その他:	0		70

2003年度教員増員数:	5
平均応募倍率:	5-10倍程度

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	35-40人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	90%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額:	15,000Tg(小)、18,000Tg(中)、20,000Tg(高)			1 数学	1-9年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与 教材			2 英語	1-7年 2年に一度の募集
備考:	片親の家庭、特別クラスに通う子どもが複数いる家庭の場合は、学費は免除される。			3 芸術	5-10年の中で1クラス(6年に一度の募集)
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年9月設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年3回	【清掃】	・清掃員10名が共用スペースと低学年教室を清掃 ・教室清掃は生徒(4年生以上)が毎日授業終了後実施+週末に大掃除 ・教室の清掃用具は保護者が用意する(その他の用具は学校の予算で賄う)
メンバー:	9名:保護者(1)、教員(3)、生徒(1)、区役所&市役所(4)	【施設改修等】	・各教室の小規模修繕は、保護者の資金・物資・労働提供などの協力により毎年実施される ・省からの予算は慢性的に不足している ・今年は洪水対策に多くのお金が費やされたため、区役所実施の大規模修繕対象校には選ばれなかった
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員		
保護者会:	学校全体(各クラスから代表1名)		
ミーティングの頻度:	毎月		

【通学状況】

生徒:	平均10-20分、最大バス30-45分
教員:	約半分が学校の近くから通勤
通学状況:	スフートルの第9、第10、第11和、(第8和の半分)、ゲル集落が学区として指定
学区外通学(理由):	約10%(特別クラス、基本的に所属和外の生徒は特別クラス以外受け入れない方針)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
<ul style="list-style-type: none"> ・全体ミーティング: 2週間に1回、授業後に行う。 ・学年・学科別ミーティング
地域住民・企業による施設利用の有無:
なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	なし	生徒数:	—
実施主体:	—	クラス数:	—
実施対象:	—		
時間帯:	—		
備考:	—		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
<ul style="list-style-type: none"> ・亡くなった教員の遺族がつくった基金: 大会参加費などへの支援 ・保護者の協力により、前年新たに8つのトイレを設置

他トナー・NGOによる協力:
<ul style="list-style-type: none"> ・団体名不明: 貧困家庭の生徒に対する文具・教材の援助

【周辺地域状況】

周辺校:	16番校(300m)、2番校(800m)、4番校(800m)、29番特別学校(600m)	幼稚園:	2	未就学児童:	0
生活状況:	生活レベル: 低い(特にゲル集落)。兄弟でシフトが違う場合、通学する服を共有するケースが見られる。道路の前から来ているのは会社員の家庭、ゲル集落は自営業。	未就学理由:	(毎年教員が家庭訪問して調査を行い、準備コースに入学させるため未就学なし)		
人口状況:	ゲル集落---地方からの流入による人口増加 団地---近隣に新たな団地建設計画あり。	治安:	それほど危なくないが、1年生と遠距離通学の生徒は送り迎えが必要。近くに住む生徒は兄弟や近隣の子ども同士で通学すれば大丈夫。		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員	
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子・机は古く、3人掛け。 ・雨漏り多く、寒い ・暖房はたまに効かなくなることがある ・コートの保管は各教室のフックを利用するが、フックの数は不足している。 ・蛇口のある教室とない教室がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前3部制を試したが、1コマの時間を短くする必要があるうえ、3部目の生徒は疲労度が高く、授業の理解度が悪い。どうにか2部制を維持したい。 	
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレは最近新しくなって使いやすくなった。ドアもあるし、男女別。 ・休み時間が短いし、利用人数が多いので、使わないで我慢することの方が多い。 ・洋式の方が便利(8年生男子) ・アジア式の方が衛生的で望ましい(8年生女子) 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前3つしかなかったが、8つ増設した。 ・教員用のトイレはないため、生徒と共有。授業中に使用する。 ・生徒用トイレはアジア式が望ましい(きれい、病気が感染しにくく衛生的) 	
3. 教員室	X		
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・全員学区から通学(4年生6名、8年生8名) ・通学時間徒歩3-10分 ・8年生8名のうち、4名が転校生(引越しによるもの) ・近所に未就学児童はいない 	X	
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・通学時間が短いので問題ない(8年生) ・遅くなったときは迎えに来てもらう(4年生・女子) 	特にコメントなし	
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館なく、図書室も使えない ・特別クラスの生徒も成績不良や遅刻回数の多さが原因で普通クラスに戻されることもある。 ・授業や特別クラスの補習のため、毎週末登校。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この学校の成績はウランバートル市内で総合3位 ・国の建築調査によって体育館は使用不能と判断された。 ・モンゴル国で初めて創立された小学校なので、多くの政治家も卒業した 	

学校名:	No. 5 School	地区:	チンゲルティ
校長:	Mr. SESEER	所属ホ:	第4ホ
学区(ホ):	第4ホ、第6ホ		



生徒数:	2500	キャパシティ:	960	設立年度:	1957
教員数:	73	職員数:	28	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	59
教室数:	30	1教室当り生徒数:	45~50人		
シフト数:	3部制	規定授業コマ数をこなせているか? :	いる		
授業時間:	1部: 8:00-12:20 (1-⑤, 2-⑤, 3-⑤, 4-⑤, 5-⑥, 6-⑥) 2部: 13:00-17:30 (6-①, 7-⑧, 8-⑦, 9-⑤, 10-④) 3部: 17:40-21:00 (9-①, 10-①)				
施設状況:	・現在3部制で授業を実施				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	210	220	226	231	255	305	299	260	179	132
クラス/担任数	5	5	5	5	6	7	8	7	6	5
越境通学者	35	43	32	48	58	78	38	40	49	32
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	2,289	2,338	2,345	2,398	2,406
クラス数:	55	55	57	58	59
教員数:	70	72	74	77	81

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
22.9%	30.5%	44.8%	1.8%

準備コース:	3ヶ月
入学制限:	今年度は学区外の子ども約60人の入学を断った。

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	100%(70%が国立大学、UB市内)		

【教員】

教員数:	73
女性教員:	57
男性教員:	16

	有資格	無資格	計
クラス担任:	58	0	58
教科担任:	15	0	15
その他:	5	0	5

2003年度教員増員数:	6
平均応募倍率:	5-10倍

日本語、ソフトテニス、芸術などの非常勤講師

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	30人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	10,000Tg(小)、20,000Tg(中)、32,000Tg(高)		1 数学	1年、5-10年 各1クラス	
学費使途:	特別クラス教員の給与 教材・設備		2 化学	7-10年 各1クラス	
備考:			3 ソフトテニス	5年 1クラス	
			4		
			5		

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年11月設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年4回+必要に応じて	【清掃】	
メンバー:	9名:保護者(1)、教員(4)、生徒(1)、区役所(1)、近隣企業(1)、市教育局(1)	・清掃員が共用スペースと教室(1年生)を清掃	
役割:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・教室清掃は生徒(2年生以上)が毎日授業終了後実施+週末に大掃除	
		【施設改修等】	
保護者会:	学校全体+各クラス	・各教室の小規模修繕は毎年実施(床/壁のペンキ、家具修理、ガラス交換)	
ミーティングの頻度:	3ヶ月に1回	・省からの予算は慢性的に不足している	

【通学状況】

生徒:	最大バス30-40分
教員:	市内各所から通勤、平均通勤時間30分(バス)
通学状況:	第4ホの全員、第6ホの約60%(残りは50番校)
学区外通学(理由):	20-30%(町の中心部にあり設備がととのっている、教育レベル高い)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
<ul style="list-style-type: none"> ・全体ミーティング: 毎週、昼休みに図書室で行う ・活動の報告、これからの計画について話しあう
ミーティング等のための施設貸し出し(年2~3回)

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	なし	生徒数:	—
実施主体:	—	クラス数:	—
実施対象:	—		
時間帯:	—		
備考:	—		

施設利用料の徴収:	1,000Tg/時間
-----------	------------

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
なし

他ドナー・NGOによる協力:
<ul style="list-style-type: none"> ・ADB(?): 教科書、英語の書籍など30冊 ・ADRA: 貧困家庭の生徒への及び清掃員に対して古着の供与 ・ADB: 化学・物理・植物のラボの機材

【周辺地域状況】

周辺校:	50番校(徒歩15分)	幼稚園:	3	未就学児童:	0
生活状況:	失業率40%。自営業(小規模の商売)が比較的多い。			未就学理由:	—
人口状況:	出生率は高くないが、地方からの流入多い。	治安:	特に大きな問題なし		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・教室は問題ない。平均40-43人で特に過密でもない。(6年生) ・教室あたり平均45-50人で狭い。3人掛けて肘があたる(4年生) ・息苦しい(4年生) ・中高生用にはクローカームあり。小学生は各教室のフックを使用。 ・フック不足で、コートなどは机の中に押し込める(4年生) ・教室を移動しながら過ごすので、休憩時間がほとんどない。また自分の教室もない 	<ul style="list-style-type: none"> ・換気が悪く、ほこりっぽい。 ・教員も生徒と一緒に教室内のクロークを共有する。クローカームは使用しない。
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・きれい。問題ない。特に不足していない(6年生) ・数が少なく、休憩時間に間に合わない。(4年生) ・現在は洋式だけど、アジア式の方がいい(洋式の便座は汚い、伝染病予防の観点から) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用のトイレはないため、生徒と共有。授業中に使用する。 ・生徒用トイレはアジア式が望ましい(清潔に保てる、清掃員に迷惑がかからないように)
3. 教員室	X	
通学状況:	X	
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生6名全員、4年生10名中5名が越境通学者。 ・越境通学の理由: 友達に通っていた、教育レベルが高い、校長が優秀 ・通学平均時間5-20分(徒歩)、遠距離の生徒はバスで約1時間かけて通学する。 	
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・酔っ払いが怖い(4年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故が心配。
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・市の中でも優秀な学校として有名。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他校との違い: 歴史が長い、教育レベルが高い、郊外からのバス停が近い ・高い教育レベルの秘訣: 優秀な教員(継続勤務、教員の入れ替わり少ない、教授法の交換など) ・小学生の方がきれいに施設を使うので、もし本計画対象校に選ばれたら小学校用の施設にする。

学校名:	No. 12 School	地区:	ソングハイラン
校長:	Ms. ODONTUNGAQLANGTUUL	所属ホロ:	第18ホロ
学区(ホロ):	第18ホロ		



生徒数:	1874	キャパシティ:	960	設立年度:	1948
教員数:	63	職員数:	26	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	46
教室数:	25(23)	1教室当り生徒数:	46~52人		
シフト数:	3部制	規定授業コマ数をこなせているか? :	いる		
授業時間:	1部:8:00-12:00 (3-⑤, 4-⑤, 6-⑤, 8-⑤, 10-③) 2部:13:00-17:30 (1-⑤, 2-⑤, 5-⑤, 7-⑤, 9-③) 3部:1-10年の特別クラス各1クラスの追加補習				
施設状況:	・現在3部制で授業を実施 ・25教室のうち、2教室は常にノンフォーマル教育のクラスが使用 ・ロビーで補習授業などを行っている				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	178	168	160	188	220	212	232	218	166	134
クラス/担任数	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3
越境通学者	8	6	9	10	16	13	12	16	17	20
退学者数:	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	1,651	1,655	1,670	1,678	1,687
クラス数:	46	46	46	46	46
教員数:	60	60	61	62	63

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
2.2%	33.7%	60.7%	3.4%

準備コース:	1ヶ月
入学制限:	所属ホロ以外の子ども約30人の入学を断った。また入学時にクラス分け試験を実施。

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	64%
大学進学	100%(国立大78%、海外留学12%)		

【教員】

教員数:	63
女性教員:	55
男性教員:	8

	有資格	無資格	計
クラス担任:	46	0	46
教科担任:	17	0	17
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	5
平均応募倍率:	27~28倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	35人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	20,000Tg(小)、25,000Tg(中)、30,000Tg(高)			1 数学	1-10年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与(20%)、教材・設備 大会参加費、参加生徒への賞品			2 外国語	5年 1クラス
備考:	特別クラスは毎年試験を実施して、必要に応じて生徒の入れ替えを行う。			3	(現在ロシア語、英語のみ。来年は日本語、中国語を追加)
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年4回	【清掃】	
メンバー:	8名:保護者(1)、教員(3)、生徒(2)、区役所(2)	・清掃員が共用スペースを清掃(各階に1人)	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・教室清掃は生徒が毎日授業前か休憩時間に実施	
保護者会:	学校全体+各クラス	・各教室の清掃用具は学校の予算で配備。	
ミーティングの頻度:	年に2回	【施設改修等】	
		・各教室の小規模修繕は毎年実施(雨漏り、床/壁のペンキ、家具修理、ガラス交換)	
		・省の通達で保護者からの修繕費徴収は禁止されているので、予算で賄う	
		・省予算では全ての割れたガラスの交換ができず、企業に援助を要請する	
		・大規模の修繕については省に追加申請をするが、承認されるとは限らない	

【通学状況】

生徒:	平均5-10分。
教員:	90%が学校周辺に住んでいる。校長が最も遠距離通勤で、車で15分。
通学状況:	学区は18ホロのみ。普通クラスでは殆ど越境通学者なし。
学区外通学(理由):	10%(特別クラス)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング: ・全体ミーティング:年4回 ・学年・学科別ミーティング:毎月、授業後/土日に行う。
地域住民・企業による施設利用の有無: なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	約120人
実施主体:	区役所	クラス数:	4
実施対象:	年齢制限なし、区の住民対象		
時間帯:	2部制(通常授業と同じ)、通年の10年コース		
備考:	その他去年まで9年、10年生の夜間クラスが開講されていたが、今年は教室不足のため実施せず		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート: ・保護者は大会参加費など小規模の援助をする。テーブルなどの供与は無理。 ・40周年、50周年などにあわせて卒業生から資金援助及び労働提供(ドア修理、家具調達、ベンキの塗り替えなど)
--

他ドナー・NGOによる協力: ・UNICEF:コピー機、PCなど ・ADB(申請中):屋根と配管修理、教室改修など計1億Tg

【周辺地域状況】

周辺校:	62番校(1.5km)	幼稚園:	3	未就学児童:	ほとんどなし
生活状況:	・ゲル集落は少数、殆どがアパート ・主な勤務先は国営企業、発電所など。 ・失業率 30~40%			未就学理由:	—
人口状況:	・地方からの流入により、去年から急激に増加 ・アパートの新築予定は特になし		治安:	特に問題なし	

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	・配管が2,3ヶ月に一回は壊れると教室中に煙が蔓延して大変 ・雨漏りする(特に3階のほぼ全ての教室で雨漏りあり) ・冬は暖房が利かなくて寒い思いをすることがある ・教室内のフックが不足しているので、服は机の中に入れるが、皺/ホコリだらけになる ・床の老朽化が激しく、ぬけることがある。窓際におくこともある。 ・3人掛けも多い。特に問題ない(4年生)。窮屈(8年生) ・ガラスが割れている教室があり、新聞紙を詰めても寒い。	—
2. トイレ	・男女共有 ・汚い ・不足している ・休憩時間に間に合わないのが我慢する ・ドアはあるが、鍵はかからない(友達に押さえてもらう) ・利用人数が多いので、和式の方がいい ・断水が多く、冬はお湯が出ない。	・教員用トイレが1つあるが、改修中で使用不可能。 ・生徒用トイレはアジア式の方が好ましい(洋式の便座は汚い)
3. 教員室	X	
通学状況:	X	
治安:	・特に問題はないが、一年の時は送り迎えがあった。 ・バス通学の生徒は大抵バス停まで迎えにきてもらう。 ・治安には問題がないが、特別クラスの後はバスがなかったり、混んでいて乗れないことがある。	—
その他:	・化学の教室は全く暖房が効かないので、冬はコートで授業を受ける ・体育の際着替える部屋がないので、トイレで着替えたり、男女交代で教室を使用する ・水が出ないので、大掃除の際は近隣のアパートから水をもらってくる。	・学校には19時以降にはいけないという規則があるため、クラブ活動や大会参加準備は土日に行う。

学校名:	No. 14 School	地区:	バヤンソルフ
校長:	Ms. ERDENECHULUUN	所属ホロ:	第13ホロ
学区(ホロ):	第13ホロ		



生徒数:	2223	キャパシティ:	960	設立年度:	1949
教員数:	66	職員数:	23	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	44
教室数:	30	1教室当り生徒数:	45人		
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間:	1部: 8:00-12:30 (1-①, 2-①, 3-①, 4-①, 5-①, 6-①, 7-⑤, 8-④, 9-④, 10-④) 2部: 13:30-18:00 (1-④, 2-④, 3-③, 4-③, 5-④, 6-③) 3部:				
施設状況:	・教室不足なので、9月15日から3部制にするか、食堂の一部を教室に転用して2部制のままで運営するか検討中				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	226	240	205	199	250	232	263	206	193	189
クラス/担任数	5	5	4	4	5	4	5	4	4	4
越境通学者	28	30	29	41	37	34	30	26	28	22
退学者数:	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	8	4	11	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	1,830	1,890	1,998	2,102	2,180
クラス数:	10	41	41	42	43
教員数:	47	49	52	56	60

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
2.2%	50.4%	46.5%	1.0%

準備コース:	一ヶ月。通常授業の後に実施。
入学制限:	住民登録不備が原因で61人の生徒の入学を断った。残りの子どもは全て受け入れた。受け入れ時に、レベル分けの試験を実施。

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	69%
大学進学	72.3%(殆ど国立の大学)		

【教員】

教員数:	66
女性教員:	60
男性教員:	6

	有資格	無資格	計
クラス担任:	44	0	44
教科担任:	22	0	22
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	9人
平均応募倍率:	約9倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	22~35人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	38,000Tg(小)~40,000Tg			1 数学	1-10年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与(35%) 教材・設備(65%)			2	
備考:	・各クラス4-5人の学費は免除している ・毎年特別クラスの進級試験あり ・今年は1年生の特別クラスに270人所属ホロ外から受験し、15人のみ合格			3	
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年2回	【清掃】	
メンバー:	11名:保護者(2)、教員(2)、生徒(1)、区役所(3)、市役所(1)、企業(1)、卒業生(1)	・清掃員が共用スペースを清掃	
役割:	委員長(1)、会員	・教室清掃は生徒が毎日各シフト後に実施	
		・各教室の清掃用具は保護者から費用を徴収して配備	
		【施設改修等】	
		・各クラスの改修は各クラス保護者会が資金を調達し、実施	
保護者会:	学校全体+各クラス	・5年ごとに大きな改修(屋根の改修、建物全体のペンキ)	
ミーティングの頻度:	年4回	・省からの予算と大会優勝賞金などから賄う	

【通学状況】

生徒:	平均20-30分、最大40分
教員:	近い教員は徒歩10分、一番遠くてバスで一時間。
通学状況:	80%が第13ホロから通学。
学区外通学(理由):	隣の14ホロにある55番学校は特別学校、69番学校(コンプレックススクール)は過密なので、14番学校に通学する子も多数。

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

<p>教員ミーティング:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体ミーティング: 毎学期、授業後に会議ホールで行う ・学年・学科別ミーティング: 毎週月曜日昼休みに教室で実施
<p>地域住民・企業による施設利用の有無:</p> <p>なし</p>

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	去年まで	生徒数:	43人
実施主体:	区役所	クラス数:	—
実施対象:	8歳～14歳対象の未就学児童		
時間帯:	—		
備考:	去年まで未就学児童対象のクラスもあったが、教室不足で今年から69番学校に移動した。		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

<p>保護者・地域住民・企業等のサポート:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初代大統領が卒業生なので、大統領基金から100万Tgの援助をもらい、家具や機材の調達をした(4年前)
--

<p>他ドナー・NGOによる協力:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草の根無償: 家庭科室の機材(1997)。オープン1台、生地発酵用器械1台、攪拌機1台 ・UNICEF: 女子を対象にしたプログラム(機材、ビデオデッキの供与) ・けん玉協会: 奨学金の援助

【周辺地域状況】

<p>周辺校: 55番校(3km)</p>	<p>幼稚園: 0</p>	<p>未就学児童: 不明</p>
<p>生活状況:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲル集落 ・失業率高い(1学級40人中仕事があるのは約10人) ・生活レベル低い 	<p>未就学理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民票の問題 	
<p>人口状況:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方からの流入が激しい(町のはずれにあり、しかも中央市場に近い) ・1つの柵の中に4-5のゲル ・去年1年間に400人の転校生 	<p>治安:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな道路を横切らないようにしているのでそれほど危険はない ・小学生の保護者には送迎をお願いしている 	

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
<p>施設状況:</p> <p>1. 教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室には52-57人いて、息苦しい ・新しい転校生は自分で家具を持って来るが、最近では置くスペースすらない ・早い者勝ちで、椅子がない生徒は立って授業をうける(4年生) ・掃除は毎日1階男子トイレから水を汲んで来て行う(男子の仕事) ・体育館が4階にあり、真下の教室は天井から何か落下したり、電球が揺れる。 ・黒板が古く、板書の字がよく読めない。 ・階段が壊れていて危険 		<ul style="list-style-type: none"> ・教室の椅子が足りないため、自宅から持ってきてもらう(3年生担任) ・追加の椅子は黒板に近すぎたり、窓/壁向きになったりと配置が困難 ・9年生以上になると身体も発達するため、3人掛けは困難 ・グループワークをすることができない ・雨漏りしている教室も多数
<p>2. トイレ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドアなし ・休憩時間は混雑して使用は困難 ・男女別 ・授業中はあまりトイレに行かせてもらえない。また授業中に行くと清掃係が怒る(4年生) ・トイレを使用するのは手を洗うときくらい(8年生) ・座れるから、洋式のトイレがいい。家のトイレはアジア式。(4年生) ・清掃しやすく、きれいに使用できるアジア式の便器がいい(8年生男子) ・洋式のトイレの方がきれいに使用することができる(8年生女子) 		<ul style="list-style-type: none"> ・教員用のトイレはないため、生徒と共有。 ・生徒用のトイレはゲルの子どもにとって使い慣れているアジア式の方がいいと思う(特に準備コースや低学年の生徒は洋式のトイレをきれいに使用するのが難しい)
<p>3. 教員室</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・5人分くらいのスペースのみで、担任教員が中で作業することはほとんどない。
<p>通学状況:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が第13ホロ、第14ホロから通学。但し、教室にはそれ以外から通学している生徒もいる ・通学時間は平均10～20分(徒歩) ・近所に未就学児童はいない 		
<p>治安:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所の友達と一緒に通学するので、特に怖い思いをしたことはない 		<p>特になし</p>
<p>その他:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制服が全学年で導入。私服は禁止 ・体育のとき体操着に着替える更衣室がない ・学校の選択理由: 所属ホロ、設備、区で一番の成績優秀校、優秀な教員、スポーツが優秀 		<ul style="list-style-type: none"> ・学校の成績はバヤンズルブ区の中で一番 ・有名な卒業生(政治家)が多く、越境通学者も多い。

学校名:	No. 16 School	地区:	スフハートル
校長:	BIBISH	所属ホ:	第10ホ
学区(ホ):	第12ホ、第10ホの半分、第8ホの一部		



生徒数:	1619	キャンティ:	—	設立年度:	1952年
教員数:	59	職員数:	18	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	44
教室数:	25+2	1教室当り生徒数:	40人		
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか? :	いる		
授業時間:	1部: 8:00-13:00 (5-⑤, 6-⑥, 7-⑤, 8-⑤, 9-③, 10-③) 2部: 13:00-18:30 (1-④, 2-④, 3-③, 4-⑤) 3部:				
施設状況:	家庭科室やロビーを普通教室として転用				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	172	161	139	185	188	186	180	151	127	120
クラス/担任数	4	4	4	5	5	6	5	5	3	3
越境通学者	5	4	3	4	2	12	16	9	7	4
退学者数:	6	4	3	4	5	1	4	1	2	0
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	1,280	1,469	1,527	1,610	1,662
クラス数:	40	42	43	44	45
教員数:	52	54	56	57	59

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
0.0%	17.4%	76.7%	5.8%

準備コース:	一ヶ月。今年は160人が受講。
入学制限:	所属ホ以外の子ども60~70人の入学を断った。所属ホの子どもは全員受け入れた。

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	80% (国立大多数。ウランハートル市内)		

【教員】

教員数:	59
女性教員:	46
男性教員:	13

	有資格	無資格	計
クラス担任:	44	0	44
教科担任:	13	0	13
その他:	2	0	2

2003年度教員増員数:	2
平均応募倍率:	4倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	—	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	85%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	小学校のみ20,000Tg			1 数学	1-7年 各1クラス
学費使途:	1クラス分の机の調達(48万Tg)、残りは学校の教育予算に組み入れた			2	
備考:	去年は特別クラスの学費徴収は小学校のみという決まりがあった			3	
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年8月設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年2回+必要に応じて	【清掃】	
メンバー:	9名: 保護者(1)、教員(4)、生徒(1)、区役所(2)、市教育局(1)	・清掃員7名が共用スペースを清掃	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・教室清掃は生徒が毎日各シフト終了後実施	
保護者会:	学校全体+各クラス	・教室の清掃用具は保護者が用意する(その他の用具は学校の予算で賄う)	
ミーティングの頻度:	毎月+年4回	【施設改修等】	
		・各クラスの修繕は保護者が休み中に行う。経費は保護者負担。生徒も手伝う	
		・去年まで予算に「改修」項目なし。今年から大規模修繕に50万Tg入る計画	
		・ガラスの交換は予算不足で実施できないこともあり、テープ等で貼ったりしている	

【通学状況】

生徒:	平均徒歩20~30分、最大40分
教員:	殆どの教員は学校の近隣に居住。22人が学校近くに購入した空き地にゲルを建てて居住。
通学状況:	
学区外通学(理由):	約10%(特別クラスなど)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
<ul style="list-style-type: none"> ・全体ミーティング: 2週間に1回 ・学年・学科別ミーティング: 授業の後や土曜日に実施。
地域住民・企業による施設利用の有無:
なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	約30
実施主体:	ノルウェーのNGO	クラス数:	2
実施対象:	休学中の子ども		
時間帯:	1階の小教室利用して2部制で開講		
備考:	教員は16番学校の教員。一年の終わりに試験を実施して、普通のクラスの編入させる。		

施設利用料の徴収:	—
------------------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
・50周年記念として卒業生から奨学金

他トナー・NGOによる協力:
・デンマーク: コピー機、黒板などの機材供与 + 教育プログラム

【周辺地域状況】

周辺校:	3番学校(300m)、2番学校、	幼稚園:	3	未就学児童	数は多いが、減少傾向
生活状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・生活レベルはかなり低い(特にゲル地区はアパートに比べ貧困家庭多い) ・失業率高い ・自営業が殆ど 		未就学理由	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困 ・ゲル集落の子どもが多い 	
人口状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・第12ホロは地方からの移動により人口増加が激しい。意1つの柵に2~3家族、家族構成人数も多い。 		治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・それほど悪くない ・道を横切る生徒には交通指導、保護者に迎えのお願いをしている 	

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員	
施設状況:			
1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房が壊れている教室がある ・1クラス42人。過密については感じ方は様々(4年生) ・1クラス47人。3人掛けで窮屈(8年生) ・教室ごとに施設面の格差がある ・普通クラスの過密は著しい ・クローゼットはないので、教室内のフックを利用するが、数が足りないため重ねてかけたりするが冬は困難 	—	
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共有 ・男子がいるので恥ずかしくて使えないことがある(8年生女子) ・汚い、あまり使用していない ・すぐに汚れても洋式のトイレがよい(4年生) ・たくさんの生徒が利用するからアジア式のトイレがよい(8年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用トイレあり、便座1つ。男女共用。 ・不足気味なので、生徒トイレを使用することもある ・たくさんの生徒が利用するのでアジア式のトイレがよい(洋式の便座の上に踏む生徒がいる) ・教員用トイレは男女別でアジア式の方がよい 	
3. 教員室			
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・全員学区内に居住 ・通学時間: 5~20分 ・第10ホロないでも遠いところは徒歩30分かかかる(バスを利用することも) ・同和から別の学校に行っている友達は非常に少ない。 ・逆に16番校に来たいのに受け入れてもらえない子もいる 		
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・酔っ払い、野良犬が怖い ・ゲル集落は街灯がないので危ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲル集落には街灯がないので、暗い ・野良犬 ・ホームレスにかばんや教科書を盗られた生徒がいる ・なるべく保護者に迎えに来てもらうよう頼んでいる 	
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・貧しくて服が無いので、学校に来られない子どもがいる ・貧困家庭の生徒のために学校に基金がある ・補習があるので、土日に登校することがある ・3時限目終了後、全クラスロビーで体操する 	—	

学校名:	No. 17 School	地区:	チンゲルティ
校長:	Mr. Baast	所属ホ:	13番ホ
学区(ホ):	13番・14番ホの半分、スハートル地区13番ホの一部		
生徒数:	2,374人	キャンティ:	910人
教員数:	69人	職員数:	21人
校舎数:	1	分校:	なし
教室数:	21+5	1教室当り生徒数:	48-50人以上
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる
授業時間:	1部:8:00-12:30 (6-⑦, 7-⑦, 8-⑤, 9-③, 10-④) 2部:13:30-18:40 (1-⑤, 2-⑤, 3-⑤, 4-⑤, 5-⑥) 3部:		
施設状況:	・ロビーを家庭科室として使用し、家庭科室を普通教室に転用 ・冬期(11-2月)は1年生の授業を早めに終わらせ、代わりに土曜に授業を実施している		



【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	273	248	240	243	323	301	308	223	126	153
クラス/担任数:	5	5	5	5	6	7	7	5	3	4
越境通学者:	12	14	8	11	16	9	13	10	13	18
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	1	2	4	-	3	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数	1,678	1,894	2,101	2,218	2,334
クラス数:	50	50	51	52	52
教員数	56	57	57	58	60

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
2.6%	43.6%	45.8%	8.1%

準備コース:	21日間(春学期)、3部の時間帯(18:40-21:15)
入学制限:	6歳児は受け入れていない

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	45-50%
大学進学	100%(68%が国立大学)		

【教員】

教員数:	69人
女性教員:	61人
男性教員:	8人

	有資格	無資格	計
クラス担任:	52		52
教科担任:	11		11
その他:	3		3

2003年度教員増員数:	5人
平均応募倍率:	3-4倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	35-40人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額:	40,000-43,000Tg徴収予定			1. 数学	5-①, 8-①, 9-①
学費使途:	特別クラス教員の給与、教材、教育環境の改善(コンピュータを1台購入)			2. 化学・物理	7-①
備考:	デザインと体育については2003年10月より開始予定			3. デザイン	8-①
				4. 体育	1-4年の体育の授業時のみ
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年10月設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年に2回	【清掃】	
メンバー:	9名:保護者(1)、教員(3)、生徒(1)、区役所(2)、卒業生(1)、学校スタッフ(1)	・清掃員8人が共有スペースを清掃	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・教室清掃は2年生以上の生徒(1年生は保護者)が毎日シフト後に実施	
		・清掃用具は保護者負担	・金曜に大掃除実施
		【施設改修等】	
		・軽微な修理(ペンキ塗り・椅子や機の修理等)は毎年実施	
保護者会:	学校全体 + 各クラス	・教室内は保護者負担、共用スペースは学校の予算	
ミーティングの頻度:	年に4回(あるいは必要に応じて)	・大規模な修理は必要な時のみ予算申請して実施	
		・1987年に屋根の改修、2002年に配管の改修を実施	

【通学状況】

生徒:	平均25-30分、最大パスで40分(北にある別荘地帯から)
教員:	64%がバス通学(通学時間約40分)、残りは学校周辺に居住
通学状況:	-
学区外通学(理由):	1%(周辺校の教育の質が悪い、特別クラスがある)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
・全体ミーティング: 毎週休休日に一番大きな教室を利用して実施 ・学科・学年別ミーティング: 2週間に1度空いている時間に教室で実施。
地域住民・企業による施設利用の有無:
・ホロの住民ミーティング: 2ヶ月に1度

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	年10-15人
実施主体:	ホロと学校	クラス数:	-
実施対象:	主に中退者(地方からの移動家族)		
時間帯:	休暇期間を利用、1日2-3時間		
備考:	次学年より普通教育に戻す		

施設利用料の徴収:	していない
------------------	-------

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
・創立記念日に卒業生から楽器・テレビ・机・椅子の寄付(資金はなし)、95年の40周年の時には30万Tgに相当する物資援助を受けた

他ドナー・NGOによる協力:
・日本草の根無償(1995年): 家庭科室設備(男女用) ・WHO(1996年) 450万Tg: トイレの水配管改修 ・UNICEF(2001年): 「子ども開発センター」テレビ・カメラ機材供与 ・UNICEF(2002年) 100万Tg: トイレ改修(便座設置) ・ADB(2002年) 350万Tg: コンピュータ教室設置・理科用展示物

【周辺地域状況】

周辺校:	49番校(15分・1.2km) 57番校(25分・1km)	幼稚園:	1	未就学児童:	なし
生活状況:	ゲル地域、生活レベルは低い(特に地方からの移動家族)、近隣の食品・建築・薪・石炭の市場でモノを売って生計をたてている		未就学理由:	-	
人口状況:	増加傾向(1つの柵の中にゲルが4-5つあることもある)、空地だった土地がゲルで既に全て埋まっている	治安:	大きな問題なし		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・今年1クラス増設して4クラスから5クラスになったので、過密も1クラス50人から40人程度に緩和された。それに伴い3人掛けもなくなった(8年生) ・暖房が効かず、冬は冷える。 ・3人掛けが殆どで、書きにくい(4年生) ・教室内は息苦しく、意識を失う子どもがいる ・教室内のフック不足で、殆どのコートは窓際に置く 	-
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・去年全てのトイレを改修したので、全部使用可能。去年は外のトイレを使用したり我慢していたが、今年からは使用するのが嫌ではない ・休み時間に行列ができて、入れないことが多い ・アジア式のトイレがよい(大勢の人が洋式の便器に座るのが衛生的によくはない) ・本当は足が痛くならない洋式のトイレがよいけど、学校にはあまり長時間いないのでアジア式で大丈夫(8年生男子) 	<ul style="list-style-type: none"> ・去年教員用トイレを設置。現在は壊れていて、生徒と共有しているが近日修理が完了予定。教員用トイレは3つあるが、男女共用でドアがないため男女一緒に使用することはできない。 ・生徒用トイレアジア式がいい(水の使用量が少なくてすむから、ゲル集落出身の生徒はアジア式に慣れている、利用人数が多いので汚れにくいアジア式の方がよい) ・教員用トイレは本当は洋式がいいが、水が無いのでアジア式の方が便利だと思う。
3. 教員室	X	<ul style="list-style-type: none"> ・無し ・以前はあったが、教室に転用された。 ・担任教員は私物や教材は教室に保管するが、教科教員は教頭室に置かせてもらうか、特別教科の準備室に置く。
通学状況:	X	X
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・明るいときは一人で下校するが、暗くなったら迎えに来てもらう。マンホール・チルトレンがカバンや洋服を狙って襲ってくるのが怖いから(4年生) ・5年生までは暗くなったら送り迎えをしてもらっていた。今は友達と帰るが、酔っ払いが多いのが嫌(8年生) 	-
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で勉強したくても、教室では常に授業を実施しているので、放課後教室で勉強できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室に50人以上は多すぎてクラスとして機能するのが困難 ・教室不足のため、土曜日が補習やクラブ活動などに費やされる ・17番学校は地域で一番良い学校なので来たがる子どもは多い。来たいけど入れない子どもも多く、そういう子どもたちは仕方なく35番学校、12番学校、72番学校、37番学校に行く。

学校名:	No. 19 School	地区:	ハヤソール
校長:	NAMGAR	所属ホ:	第20ホ
学区(ホ):	第20ホ		



生徒数:	1212	キャパシティ:	—	設立年度:	1956
教員数:	44	職員数:	19	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	33
教室数:	13+3	1教室当り生徒数:	43人		
シフト数:	3部制	規定授業コマ数をこなせているか? :	いない		
授業時間:	1部: 8:00-11:00 (2-①, 3-①) 2部: 11:00-14:00 (1-①, 4-①) 3部: 14:00-17:30 (2-①, 3-①) 1部: 8:00-12:30 (10-②, 9-②, 8-④, 7-④, 6-③) 2部: 13:00-18:30 (5-④, 4-③, 3-①, 2-②, 1-④)				
施設状況:	・土曜日も授業を実施 ・3部制と2部制の混合				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	134	132	85	106	152	120	154	160	85	84
クラス/担任数	4	4	3	3	4	3	4	4	2	2
越境通学者	19	0	16	11	32	25	28	35	21	14
退学者数:	-	1	2	3	1	1	3	1	-	-
留年者数:	4	2	3	1	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	1,173	1,073	1,312	1,272	1,200
クラス数:	33	33	33	23	33
教員数:	40	40	41	44	44

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
2.2%	56.7%	34.3%	6.7%

準備コース:	一ヶ月
入学制限:	47人の入学を断った。所属ホ外からの生徒は余裕がある限りできるだけ受け入れる。地方から移動してきた子どもに対しては面接を実施する。

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	70% (国立と私立の割合半々、UB市)		

【教員】

教員数:	44
女性教員:	38
男性教員:	6

	有資格	無資格	計
クラス担任:	33	0	33
教科担任:	15	0	15
その他:	4	0	4

非常勤

2003年度教員増員数:	4
平均応募倍率:	不明

【特別クラス】

設置:	なし	1クラス当り生徒数:	—	設置状況:	
選考方法:	—	回収状況:	—	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額:	—			1	
学費使途:	—			2	
				3	
備考:	今年から設置する予定だったが、省の承認がなかったため来年から設置する			4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年2回	【清掃】	
メンバー:	5名: 保護者(1)、教員(2)、生徒(1)、区役所(1)	・清掃員5名が共用スペースを清掃	
役職:	委員長(2)、秘書(2)、会員	・教室清掃は生徒が毎日2回実施	
		・教室の清掃用具は教員・生徒が持ち寄る(その他の用具は学校の予算で賄う)	
保護者会:	学校全体+各クラス	【施設改修等】	
ミーティングの頻度:	年4回+毎月	・各クラスの改修は保護者会が資金を調達し、主に教員と職員が実施	
		・教室外の改修は学校予算で実施するが、慢性的に不足。企業の寄付を募る	
		・昨年は区の改修費300万円で暖房システムを設置。今年は洪水のため予算無	

【通学状況】

生徒:	平均10分、最大でも約20分
教員:	半数以上は学校の周辺から通勤
通学状況:	生徒の約半分が第20ホ、半分が区外のソングノハイルン区第20ホから通学。
学区外通学(理由):	94年までソングノハイルン区にあったため、現在も生徒の50%は同区から通学

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング: ・全体ミーティング: 2週間に1回、授業後に実施 ・教科別ミーティング: 毎週昼休みに実施 ・ミーティングには教室を利用
地域住民・企業による施設利用の有無: なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	今年は未定	生徒数:	30 (2002)
実施主体:	UNICEF	クラス数:	2
実施対象:	10歳~15歳の未就学児童		
時間帯:	夏期休暇中(2ヶ月)		
備考:	終了後27人が19番学校の普通プログラムに編入 教師はUNICEFから派遣された		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート: ・生徒の保護者が勤めている企業からは改修費などを支援してもら ・基本的に外部からのサポートはほとんど無い
--

他ドナー・NGOによる協力: ・ロータリークラブ(モンゴル): 日本の企業によるPC4台供与 ・ソロス基金: 教員研修 ・UNICEF: 未就学児童への夏期プログラム実施時に机(45)と椅子(20)の供与
--

【周辺地域状況】

周辺校: 12番校(4km)、42番校(6km)	幼稚園: 2	未就学児童: 約12人(うち女子が80%)
生活状況: ・ゲル集落で生活レベル低い(ノートや鉛筆などがない生徒も多い) ・失業率60~70% ・大きな企業もないため自営業中心	未就学理由: ・女子が多いのは、元来女子の数の方が多いから	
人口状況: ・町のはずれなので、地方からの流入はげしい ・土地民営化の影響で来年からますます増加する	治安: ・酔っぱらいなど ・貧困者の居住地なので格差はなく、大きな犯罪などはない	

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	・床がぬげそう ・去年まで暖房がなくて、すごく寒かった(コート着用のまま授業をうけていた) ・三人掛けできつい ・コート類は教室内のフックを利用するが、数が足りないため窓際に置く	—
2. トイレ	・中のトイレはそれほど汚くない ・休憩時間が足りないの、家に帰るまで我慢するようにしている ・外にもトイレがあるが、穴が大きすぎて使えない(3年生) ・洋式の便座に座るのは汚いので、アジア式トイレがいい(8年生) ・洋式のトイレはよくわからない(3年生) ・お湯が出ないので冬は寒かった	・教員用のトイレは無いため、生徒と共有する。 ・外のトイレは冬に使用するのは非常に困難 ・生徒用のトイレはアジア式の方がいい(使い慣れているから、洋式は汚いから) ・教員用のトイレは洋式の方がいい
3. 教員室	X	・教室の半分くらいの面積で、テーブル1つで椅子5つのみ。狭い。 ・ノートチェックなどの作業は自宅に持ち帰って行うか、体育の授業中で空いている教室で実施する。 ・ノートなどは教室内に教室内に保管する。
通学状況:	・殆ど全員が第20ホロ。徒歩5~20分 ・クラスメートにはソギノハイラン区や第2ホロから通学する生徒も多い。 ・42番学校近くに住くに居住していたが、42番学校が過密で入学を断られたため19番学校に来ている(8年生男子1名)	X
治安:	・特に怖いと感じたことはない	—
その他:	・一度学校の外に出ると、中に戻れないのが不便 ・土曜日にも授業があるため登校する	・外国語用の特別教室がない ・文化活動を行うためのホールがないため、ロビーに作ったステージで代用している

学校名:	No. 20 School	地区:	ハヤンゴル
校長:	Ms. OYUNCHIMEG	所属ホ:	第4ホ
学区(ホ):	第1ホ、第3ホ(一部)、第4ホ		



生徒数:	3000	キャパシティ:	—	設立年度:	1956
教員数:	92	職員数:	16	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	69
教室数:	31+4	1教室当り生徒数:	45人		
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間:	1部: 8:00-12:30 (3-②, 4-②, 6-⑥, 7-⑨, 8-⑧, 9-④, 10-④) 2部: 13:30-16:50 (1-⑦, 2-⑥, 3-⑤, 4-④, 5-⑨, 6-③) 3部:				
施設状況:	・家庭科教室などの特別教室を教室へ転用				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	276	248	279	265	340	392	386	343	185	200
クラス/担任数	7	6	7	6	9	9	9	8	4	4
越境通学者	15	20	23	10	7	11	17	5	8	4
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	2,508	2,507	2,760	2,945	2,956
クラス数:	66	65	68	70	70
教員数:	85	85	88	93	92

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
3.6%	64.5%	30.8%	1.1%

準備コース:	21日間(2部授業の後に実施、270人受講)
入学制限:	50~60人の入学を断った 理由: 7歳児の96年5月以降の出生者については断った

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	80~90% (国立60%、ほぼ全員が市内)		

【教員】

教員数:	92
女性教員:	80
男性教員:	12

	有資格	無資格	計
クラス担任:	69	0	69
教科担任:	23	0	23
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	4人
平均応募倍率:	5倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	40人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	25,000Tg(小)、35,000Tg(中高)			1 数学	1~9年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与 教材			2 英語&ロシア語	8~10年 各1クラス、 5~7年 各2クラス
備考:	・貧困家庭の生徒、成績優秀な生徒は学費免除			3	
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年設立)	施設メンテナンスの実施状況:
ミーティング:	年4回	【清掃】
メンバー:	9名:保護者(1)、教員(1)、生徒(1)、区役所(1)、卒業生(1)、教頭(1)、市教育局(2)、教育省(1)	・清掃員8名が共用スペースを清掃
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・教室清掃は3年生以上の生徒が毎日各シフト終了後に実施+毎週大掃除
		・低学年の教室は清掃員と保護者が清掃する
		・教室の清掃用具は保護者から徴収(その他の用具は学校の予算で賄う)
		【施設改修等】
		・各教室の修繕は各クラスの保護者から徴収(1人あたり500~1000Tg)
		・各教室の修繕は毎年実施(壁、床の修理、窓・家具のペンキ塗り替え)
		・2002年に区の特別改修予算で屋根の修理を実施(2000万Tg)
		・来年は配管の修理を申請予定だが通るかは不明
		・区役所に申請時は、区役所の学校施設ジェネラル・エンジニアに建物を調査・見積もりしてもらい、学校委員会の承認を経たうえで申請を行う。
保護者会:	学校全体+各クラス	
ミーティングの頻度:	年2回+年4回	

【通学状況】

生徒:	一番遠くの生徒の通学時間はバスで40分
教員:	近隣からの通勤が全体の約6割。一番遠い教員でバスで約40分。
通学状況:	生徒の出身ホの割合は第1ホ10%、第3ホ30%、第4ホ60%
学区外通学(理由):	10% (特別クラスなど)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
<ul style="list-style-type: none"> ・全体ミーティング: 2週間に1回 ・教科別ミーティング: 毎週 ・月曜日に授業の後に会議ホールを利用
地域住民・企業による施設利用の有無:
<ul style="list-style-type: none"> ・ホロ住民の会議、区の教員会議(無料) ・企業による体育館使用(有料)

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	なし	生徒数:	—
実施主体:	—	クラス数:	—
実施対象:	—		
時間帯:	—		
備考:	—		

施設利用料の徴収:	6000Tg/時間
-----------	-----------

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者: トイレ8つの改修(600万Tg) 壁・床の修理、便座の交換、配管の交換 ・モンゴル・韓国合弁会社: 印刷機、PC4台、PC用机

他ドナー・NGOによる協力:
過去2-3年は無し

【周辺地域状況】

周辺校:	38番校(5分)、51番校	幼稚園:	2	未就学児童:	7人(第4ホロ)
生活状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・団地でケル集落はなし ・公務員、鉄道会社員が多く、生活レベルは高め 	未就学理由:	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困(5人) ・学校に通いたくない(2人) 		
人口状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・第4ホロはバヤンソル区で最大の人口 ・移動家族はそれほど多くないが、団地の新設、出生率の上昇で人口増加中 	治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・中央道路付近は交通量が多く危険 ・交通量以外は特に問題なし 		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況:		
1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・雨漏りする ・配管から水が漏れる ・暖房があまりきかない ・特別クラスは過密もないし、家具も足りている(4年生) ・掃除用具はないので、隣の教室のものを借りている。今年新しい教室になってからまだ買ってないが、そのうち保護者からお金を集めるのではないかと(8年生) ・掃除用具あり(手袋、雑巾、箒、ちりとり、バケツ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の過密がひどく、教員に大きな負担となっている ・過密のせいで生徒1人あたりの面積が小さく、生徒の健康にも悪影響がある ・過密を減らすため、クラスを増やせば3部制に移行する必要があるが、生徒の理解力がおちたり、教員の負担がふえたり、クラブ活動ができなくなる、などのマイナス要素も大きい。
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生的なので、アジア式のトイレがいい(8年生) ・洋式トイレがいい(きれいで、汚れても清掃係が清掃してくれる)(4年生) ・古いトイレはドアが無くて、恥ずかしいから入れない ・新しいトイレはドアがあってきれい 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用のトイレあり。男女別。ドア無し。3ブースあるが、ドアが無いので一度に利用できるのは1つのみ。予算不足で、ドアはつけられない ・生徒用のトイレはアジア式が望ましい(洋式は汚れやすく、便座がすぐに割れてしまう)。 ・男子トイレは小便器がある方がいい(恥ずかしがって使用を控えたりすることはない) ・教員用のトイレは洋式の方がいい
3. 教員室	X	<ul style="list-style-type: none"> ・10~15人のキャパシティ ・ノートチェックなどの作業は自宅や教室でする ・教員の私物や教材、集めたノートは教室で保管する。教科教員の場合は、持ち歩くか同僚の教室に置かせてもらう
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・同じホロから違う学校に行っている子多数(1番校、97番校、38番校、Mongeni校) ・学区外通学者2名(以前は学区内に住んでいたが引越しのため) 	X
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・ストリート・チルドレンにカバンを取られたりするので怖い ・バーが近辺に多いので、酔っ払いが多い ・暗くなると保護者に迎えにきてもらう(4年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に近いので、ストリート・チルドレンが多い。 ・交通量も多く、交通事故もおこる
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・図書閲覧室は狭くて中に入れない ・外の体育広場はほこりっぽい ・化学や物理の実験機材ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・補習やノートチェックなどの作業のため、ほぼ毎週土曜日も通勤 ・体育館は2,3クラス合同で使用するため、ほこりっぽく息苦しい ・外国語のグループワーク用の部屋がない(普通教室に転用されたため)

学校名:	No. 21 School	地区:	ハヤズルフ
校長:	Mr. G. ARIUNBOLD	所属ホ:	第6ホ
学区(ホ):	第6ホ+スパートル第1ホのゲル集落		



生徒数:	1600	キャンティ:	—	設立年度:	1956
教員数:	65	職員数:	26	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	44
教室数:	23+2	1教室当り生徒数:	40~50人		
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか? :	いる		
授業時間:	1部: 8:00-12:30 (2-④, 4-④, 7-⑤, 8-⑤, 9-④, 10-④) 2部: 13:30-16:50 (1-⑦, 2-⑥, 3-⑤, 4-④, 5-⑨, 6-③) 3部:				
施設状況:	・事務所2室を教室に転用				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	128	132	100	125	252	173	162	181	160	171
クラス/担任数	4	4	3	4	4	5	4	4	4	4
越境通学者	13	17	28	19	27	27	29	30	30	30
退学者数:	-	-	4	8	-	19	15	9	-	1
留年者数:	5	7	9	17	8	7	-	1	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	1,190	1,500	1,890	1,900	1,680
クラス数:	40	44	48	48	44
教員数:	58	58	65	10	74

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
4.7%	65.6%	28.1%	1.6%

準備コース:	3週間
入学制限:	無し

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	60%
大学進学	85% (国立大約5割、全員市内)		

【教員】

教員数:	65
女性教員:	57
男性教員:	8

	有資格	無資格	計
クラス担任:	44	0	44
教科担任:	20	0	20
その他:	1	0	1

2003年度教員増員数:	4人
平均応募倍率:	3-8倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	35~40人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	80~90%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	無料(小)、35,000Tg(中)、45,000Tg(高)			1 体育	1, 2, 5, 6, 10年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与 教材・設備			2 化学・物理	9年 1クラス
備考:	・貧困家庭、複数の子どもが特別クラスに通っている 家庭に対する割引あり			3 数学	5, 6, 7, 8年 各1クラス
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり (2000年設置)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年2, 3回	【清掃】	・清掃員7名が共用スペースと1年生教室を清掃 ・教室清掃は2年生以上の生徒が毎日2回実施 ・教室の清掃用具は生徒の持ち寄り(その他の用具は学校の予算で賄う)
メンバー:	9名:保護者(1)、教員(5)、生徒(1)、区役所(1)、卒業生(1)	【施設改修等】	・各教室の修繕は学校の予算から賄い、予算が足りない時は企業などのスポンサーを探す(但し、壊した人が明白なときは弁償や保護者からの寄付金で賄う) ・2000年教育省予算で暖房システムの修理(2000万Tg) ・現在在外の道の補修を区役所に要請中
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員		
保護者会:	学校全体+各クラス		
ミーティングの頻度:	年2~3回+毎月		

【通学状況】

生徒:	平均通学時間: 5~10分、最大通学時間: 60~90分
教員:	8割が周辺地区から出勤
通学状況:	学区の一部であるスパートル区ゲル集落からは50~60人の生徒が通う
学区外通学(理由):	20%

職員住宅:	あり (教員5名)
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
<ul style="list-style-type: none"> ・全体ミーティング:2週間に1回 ・教科別ミーティング:2週間に1回 ・月曜日のお昼休み一番大きな教室を利用
地域住民・企業による施設利用の有無:
なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	20
実施主体:	イギリスの個人	クラス数:	1
実施対象:	近くの市場で働いている8歳~16歳の子ども		
時間帯:	13:00-17:50、毎日、2年間のコース、1教室を利用		
備考:	修了後試験を受けた後、17番校に編入		

施設利用料の徴収:	なし
------------------	----

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
<ul style="list-style-type: none"> ・ホロ出身の国会議員:PC、体育で使用するテーブルコート、ノートなど ・卒業生:建築資材など

他トナー・NGOによる協力:
<ul style="list-style-type: none"> ・ソロス基金:教員用机5台 ・ロータリークラブ:PC4台供与(ADBの予算?)

【周辺地域状況】

周辺校:	84番校(5000m/5分)、111番校(700m/7分)	幼稚園:	1	未就学児童:	約20人
生活状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・第6ホロはケル集落と団地 ・団地の方が少し生活レベルが高い ・失業率は約40%で、失業者多い。 			未就学理由:	市場で働いている
人口状況:	地方からの流入とアパートの新しい建設予定で人口は増加傾向(団地の方が人口増加激しい)	治安:	特に問題ない		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況:		
1.教室	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスが割れてもあまり交換されず寒い。コートを着たまま授業を受ける ・雨漏り ・1教室40~45人。3人掛け ・教室内のフックは足りず、コートは机の中に入れてたり、窓際に置く ・暖房きかない 	—
2.トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・流す水はあるが、手を洗う水ない。手は洗わない。 ・いつも床が濡れていて汚い(靴が汚れるから入らない) ・なるべく使用せずに我慢する(4年生) ・絶対行かない(8年生女子) ・ドアはあるけど、鍵はない ・男女共有なので、女の子同士2人で入り1人に見張ってもらう ・男の子が女の子を覗いたりすることがあって嫌(4年生) ・アパートも洋式なので洋式トイレの方がいい(4年生) ・アジア式の方がいい(洋式の便座の上に土足で乗る生徒多い) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在教員用トイレは1つだけなので、大抵使用しないで我慢する ・水分をとらないように心がけている ・生徒用トイレの蛇口は壊れ気味で低学年の生徒は閉められないため、開きっぱなし。そのため木の床が濡れて水漏れをおこしている。 ・生徒用のトイレはアジア式がいい(洋式は壊れやすい)。団地の子どもは使い慣れている洋式を好むかもしれないが。 ・教員用トイレは洋式がいい(高齢者にとって座りやすいように)
3.教員室	X	<ul style="list-style-type: none"> ・5~6人用の部屋。 ・教科教員用のクロークあり ・棚無し。教室に保管。 ・教員は主に家に持ち帰って作業する。空いていれば教室で作業することもある。
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・6番ホロはアパート建設のため立ち退きが進んでいるため、数年前に第6ホロから引っ越したが、学校だけはかわらずに通い続けている生徒が多い。 ・家から近いのは21番学校と84番学校。84番学校は教員も厳しく、生徒も優しくない。施設はきれいなのでうらやましい。 ・同ホロには他校に行く友達も多数。特にお金持ちの子はレベルの高い学校に行く(Iredui, 1番学校、私立など) 	X
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・ストリート・チルドレンに本を盗られた(ストリート・チルドレンは年齢・性別が様々。ナイフを持っているので女子の方が危険) ・ナイフを持った酔っ払いもいる ・保護者がいつも送り迎えをしてくれる(4年生) ・迎えはなし。友達と一緒に帰る(8年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場が近いので治安はそれほどよくない ・給料が現金支給されるため、給料日をカバンをねらわれたケースがあった。 ・学校が終わるのが遅くなるときは生徒を自宅に送ることがある
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館は天井が落ちる可能性があるため、使用不可能。暖かいうちは体育は屋外で行い、冬の間は教室で講義を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近隣校である84番学校は新しく設備もきれいだが、21番学校の方が教員は優秀で生徒のことをよく見る ・補習、試合等のため土曜日にも通勤する。日曜日にも通勤することがある ・元来ケル集落に建てられた学校だったが、アパート建設で急速に人口が増えた。来年近隣のアパートが完成し400世帯増える可能性がある。 ・ケルの子は生活が厳しく、勉強する時間がなかなかとれない

学校名:	No. 33 School	地区:	ハヤズルフ
校長:	Mr. TSOG	所属ホ:	第3ホ
学区(ホ):	第1ホ(1部)、第3ホ(1部)、第7ホ		



生徒数:	2700	キャパシティ:	—	設立年度:	1966
教員数:	82	職員数:	28	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	57
教室数:	29+7	1教室当り生徒数:	52~70人		
シフト数:	3部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間:	1部:8:00-11:30 (1-①, 2-④, 4-⑤) 2部:12:00-15:30 (2-②, 3-③, 1-③) 3部:16:00-18:30 (1-①, 3-②) 1部:8:00-12:30 (8-⑦, 9-⑤, 10-⑤) 2部:13:30-17:30 (5-⑤, 6-⑦, 7-⑦)				
施設状況:	・小学校3シフト、中学&高校2シフトで運営 ・PCなどを教室に転用して使用している				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	204	257	240	220	264	321	325	311	231	239
クラス/担任数	5	6	5	5	5	7	7	7	5	5
越境通学者	55	60	48	35	95	109	77	106	78	73
退学者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	15	21	17	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	2,039	2,201	2,250	2,443	2,612
クラス数:	48	54	54	57	57
教員数:	61	65	69	79	82

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
1.5%	53.9%	42.6%	2.0%

準備コース:	一ヶ月
入学制限:	所属ホの子どもは全員受け入れている 所属ホ外の子どもの入学を50人ほど断った

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	70%
大学進学	80% (6割が国立大、海外留学者もいる)		

【教員】

教員数:	82
女性教員:	53
男性教員:	29

	有資格	無資格	計
クラス担任:	57	0	57
教科担任:	25	0	25
その他:	6	0	6

2003年度教員増員数:	2人
平均応募倍率:	3、4倍

音楽、ダンス、ソフトテニスなどの非常勤講師

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	40~43人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	20,000Tg(1-5年)~40,000Tg			1 化学	7-10年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与 教材			2 数学	1-10年 各1クラス
備考:	・学費を払えない生徒は普通クラスに移ってもらう			3 外国語	1-10年 各1クラス
				4 スポーツ、ダンス、ソフトテニス	それぞれ5-10年 3年に1度の募集
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり (2001年設置)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年2回	【清掃】	
メンバー:	11名:保護者(2)、教員(3)、生徒(2)、区役所(2)、 市教育局(1)、医者(1)	・清掃員8名が共用スペースと小学生教室を清掃 ・教室清掃は中学以上の生徒が毎日2回実施 ・教室の清掃用具は生徒の持ち寄り(その他の用具は学校の予算で賄う)	
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	【施設改修等】	
保護者会:	学校全体+各クラス	・各教室の修繕は毎年新学期前に教員と職員が中心となって実施 ・各教室の修繕費は保護者からの徴収+不足分を学校予算から補填する (去年は学校予算から50万Tg補填した)	
ミーティングの頻度:	年3~4回+年3回 (+問題が発生した時)	・窓ガラスが割れて犯人不明の時は喫茶や売店の収入を交換費用にあてている(年間20万Tg必要) ・昨年地元の企業の寄付2万Tgでスポーツコンプレックスを改修した	

【通学状況】

生徒:	平均通学時間10-15分。最大通学時間:20-30分
教員:	70%の教員がハヤズルフ区
通学状況:	町の中心部にある進学校なので、越境通学多い。
学区外通学(理由):	約半分は越境通学生

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
<ul style="list-style-type: none"> ・学科・学年別:2週間に1度、学校(3部)の終了後 ・最も大きな教室を利用
地域住民・企業による施設利用の有無:
なし

【非・フォーマル教育】

実施の有無:	なし	生徒数:	—
実施主体:	—	クラス数:	—
実施対象:	—		
時間帯:	—		
備考:	—		

施設利用料の徴収:	—
-----------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生(MCS社長):卒業20周年記念に勉強した教室の改修(床、壁、黒板などを新調) ・記念年には卒業生から寄付がある。2006年には40周年になるので、卒業クラスごとに寄付がある。 ・様々な形でサポートを受けている。

他ドナー・NGOによる協力:
<ul style="list-style-type: none"> ・ADB(申請中):屋根の修理、電気、暖房、水道など計7000万Tg <p>様々なドナーに協力の要請をしているが、町の中心部にあって恵まれているのでなかなか援助の対象にはならない</p>

【周辺地域状況】

周辺校:	48番校(1km/10分)、79番校(1km/10分)、84番校(2.5km/25分)	幼稚園:	2	未就学児童:	0
生活状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・団地 ・生活水準---中の上、上 ・教員やロシア関連のいい仕事についている住民が多い 	未就学理由:	—		
人口状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・団地の家族の入れ替わりが激しく、引越した家族の子どもも新しく移動してきた家族の子どもも33番校に通うので、生徒数が増加している。 	治安:	大きな道路があり、交通面に危険がある		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員	
施設状況: 1.教室	<ul style="list-style-type: none"> ・1クラス当り生徒数が60人を超えている学年もある ・1つの机に3-5人が座っている(席は固定と自由の両方) ・席によって黒板が見えにくい ・教室が過密で息苦しい(特に冬) ・クロークは各教室にあたりなかつたりする(数不足なので、重ねてかけたり机の中に入れてたりしている) ・ロビーを転用した教室が暗い、グループワーク用教室が狭い ・雨漏りがひどい ・暖房はあるがあまりきかない(冬はコートを着て授業を受けたりする) 		
2.トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアはあるが低いので隣の人が見えてしまう ・男女別だが汚い ・数不足で生徒が並んでいて、休憩時間内に間に合わない ・小便器があった方がよい(高学年男子)、見られるのが恥ずかしいのでブースだけでよい(低学年男子) ・隣の人に見えないトイレの構造(高い柵やドア)がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用あり(男女共用、ドアあり) ・数が足りない(3つ)教室に近い生徒用を使うこともある ・子どもの数が多いのでアジア式がよい 	
3.教員室	X		
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・通学時間は10-15分、遠くてバスで60分 ・所属域外からの通学者は特別クラスに入っている ・同域内には1番、2番、21番、87番、18番校や私立校に通っている友だちがいる(33番校の教室の過密や教育の質を理由に) 	X	
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭がないので遅くなると暗い ・ホームレスやマンホールチルドレン(冬期)に鞆を取られたりする ・親に迎えにきてもらったり、クラスメートの男子に送ってもらったりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に飲み屋(バー)があるので酔っ払いが多い ・特に小学生の親には迎えにきてもらうようにしている ・交通 ・マンホールチルドレン(特に冬)がベンチに座って様子を伺っていたりする、鞆を取られたりするともある 	
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の質の高い人気校 ・6歳児入学は少ない(7歳児と8歳児はほぼ同じ) ・外からわざと窓ガラスを割る生徒もいるが多くはない 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は3部制で授業があるので、補習は土曜に実施したりする ・保護者からの寄付金の徴収について、反対の声もあがっている(年に2,000-3,000Tg) 	

学校名:	No. 35 School	地区:	スフートル
校長:	Ms. Battsengel	所属ホ:	14番ホ
学区(ホ):	13番ホの半分と14番ホおよびチンケルテイ地区の14番・18番ホ		
生徒数:	1,977人	キャパシティ:	-
教員数:	58人	職員数:	23人
校舎数:	1	分校:	なし
教室数:	22+3	1教室当り生徒数:	40-46人
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる
授業時間:	1部:8:00-12:30 (7-⑤, 8-⑤, 9-③, 10-③, 1-②, 2-③, 3-①, 4-①) 2部:13:00-17:30 (1-②, 2-③, 3-③, 4-③, 5-⑤, 6-⑥) 3部:		
施設状況:	・家庭科室を普通教室に転用 ・午前中は教室不足により移動教室で対応		



【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	200	184	257	173	221	270	210	227	117	118
クラス/担任数:	5	5	4	4	5	6	5	5	3	3
越境通学者:	2	5	6	3	26	21	19	18	9	12
退学者数:	-	-	1	3	2	-	-	-	-	-
留年者数:	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数	1,674	1,738	1,826	1,879	1,886
クラス数:	43	44	45	45	46
教員数:	54	56	57	57	57

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
0%	29.5%	68.0%	2.5%

準備コース:	21日間(春学期)、3部の時間帯
入学制限:	教室の過密により新入生約30人の入学制限(所属ホ出身者含)、7歳児の入学制限(8歳児優先)、選考試験実施

【進級・進学状況】

中学進級	100%	高校進級	75%
大学進学	65%(多くが国立大学、UB市内)		

【教員】

教員数:	58人
女性教員:	50人
男性教員:	8人

	有資格	無資格	計
クラス担任:	45		45
教科担任:			0
その他:	13		13

2003年度教員増員数:	6人
平均応募倍率:	4倍

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	30-35人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験実施	回収状況:	50%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額:	20,000Tg(小)、25,000Tg(中・高)		1. 数学	1-①	
学費使途:	特別クラス教員の給与(25%) 教材・教育環境の改善(残り)		2. 英語	1-①, 3-①, 4-①, 5-①, 8-①, 10-①	
備考:	数学は2003年度より設置		3		
			4		
			5		

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり(2002年10月設立)	施設メンテナンスの実施状況:
ミーティング:	年に2回	【清掃】
メンバー:	9名:保護者(1)、教員(3)、生徒(1)、区役所(4)	・清掃員8名が共用スペースを清掃
役職:	委員長(1)、秘書(1)、会員	・教室清掃は生徒(中・高のみ)が毎日各シフト終了後実施
		・清掃用具(洗剤・石鹸・雑巾)は生徒持参
		・水の問題(川から水を汲んでいる、お湯がない)
		【施設改修等】
保護者会:	学校全体+各クラス	・小規模改修(机や椅子の修理、壁のペンキ・ガラス張替え等)は毎年実施
ミーティングの頻度:	年に4回(2002年度は3回実施)	・大規模改修の実施実績なし(区役所に予算申請中)

【通学状況】

生徒:	平均10-20分、最大バス40分
教員:	15%が遠くから通学(最大バス40分)
通学状況:	スフートルとチンケルテイの14番ホで約80%、残りが18番ホ(チン)と13番ホ(スフ)
学区外通学(理由):	約2%(以前学区ホに住んでいた)

職員住宅:	なし
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング:
<ul style="list-style-type: none"> ・定例ミーティング: 年に4回 ・学年・学科別ミーティング: 週に1回(毎週月曜) ・2部制の授業終了後、あるいはソフト間の休憩時間を利用 ・土曜にミーティングあるいは補習を行うこともある
地域住民・企業による施設利用の有無:
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や企業のミーティング ・会社のスポーツ大会(体育館)

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
<ul style="list-style-type: none"> ・企業からの資金提供により屋根(半分)と配管の改修(1996年) ・保護者や卒業生からの物資寄付: 生徒用椅子・机、会議ホール用椅子、設備等

【周辺地域状況】

周辺校:	58番校(2.3km)、37番校(2km)	幼稚園:	1	未就学児童:	37人(女子の方が多い)
生活状況:	ケル地域、失業率80-90%、他地域に比べて生活レベルは低い(貧しい家庭が多い)	未就学理由:	移動家族による住民登録問題、貧困(教材・服が買えない)		
人口状況:	地方からの移動家族が増えている、1つの柵に4-5つのケルがあり人口の増加は著しい	治安:	登下校時にカバンを取られる、ケル家庭の火事(親の留守中)		

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・過密により教室が狭い ・1クラス当り生徒数(45人以上)が多く、風邪などが流行しやすい ・机と椅子不足により、1つの机(2人用)に3人掛けで座っている ・教室不足により英語のグループワークができないことがある ・教員が生徒個人に関わる事ができない ・生徒数が多くて空気が汚い ・停電が多い ・黒板が光って見えないことがある ・暖房用ボイラーのキャパ不足によりとても寒い 	<ul style="list-style-type: none"> ・過密により生徒1人1人に関わる事ができない ・外国語の授業はグループワークが必要だが、グループワーク用教室は狭くて使いにくい ・机の間を通ることもできない ・机と椅子不足 ・ボイラーを2教室に転用しているがそれでも教室は不足している
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが汚くて入れない ・悪臭 ・数不足 ・男女共用 ・水がないので川から汲んだり、家からボトルで持参する ・手洗い場がない ・多くの生徒が使用するので、汚くなって使えなくならないようアジア式トイレがよい ・洋式トイレは便座を汚い足で踏んで使う生徒がいる(低学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用トイレ(便座3、男女共用)があるのはよいが、生徒用も不足していて非常に汚い ・水がないのでトイレが非常に汚い(雨水利用もしている)
3. 教員室	X	
通学状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・通学区以外にスワートル地区の4番・5番・6番・16番ホロ、フィンケルイ地区の1番・3番・13番ホロからも通学 ・通学時間は徒歩で5-15分、バスで20分程度 ・高学年の同ホロに住んでいる友人の中には、過密による学習環境の悪さを理由に他校へ通っている人がいる(3・5・6・58・37番校等)一方、低学年の友だちはみな35番ホロに所属している 	
治安:	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時に怖いと感じる(低・高学年共に) ・酔っ払いが多い ・野良犬がいる ・街灯がないので暗い ・鞆を取られたりすることがある ・遅くなる時には親に迎えにきてもらったりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故が多いので、生徒が道を渡るまで見ていたりする ・冬に道が滑る ・酔っ払いがいる ・治安はあまりよくない ・親にはなるべく迎えにきてもらっている
その他:	<ul style="list-style-type: none"> ・共同クロークはフック不足により、袋に入れて床に置くこともある ・服を間違えたり、特に帽子と手袋がなくなることが多い ・クロークに番号が振られていないので、ものがなくなることがある ・係員が洋服を間違えることが多く、探すが見つからない ・クロークのキャパを広げて番号を振った方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が多く(冬期の)授業前はクローク前が大変混雑する ・クロークが足りない(1クラス25人用)ので、小学生は袋に入れて置いている ・クローク係が1名しかいないので時間がかかる

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	12人
実施主体:	区役所	クラス数:	2
実施対象:	所属ホロの学校中退者と未就学児童(8-14歳)		
時間帯:	毎日(9:00-12:00、13:00-15:00)		
備考:	昨年は生徒60人		

施設利用料の徴収:	していない
------------------	-------

他ドナー・NGOによる協力:
<ul style="list-style-type: none"> ・ソロス基金: コンピューター・コピー機・教室内の設備(黒板等)の供与 ・アジア開発銀行: 2教室用椅子(120)・机(60)の供与 ・UNICEF: OHP及びびスクリーンの供与

学校名:	No. 39 School	地区:	チンゲルティ
校長:	Mr. GANBAT	所属ホ口:	第10ホ口
学区(ホ口):	第9ホ口、第10ホ口		



生徒数:	2350	キャパシティ:	860	設立年度:	1969
教員数:	70	職員数:	28~30	設置学年:	1-10年
校舎数:	1	分校:	なし	クラス数:	52
使用教室数:	29	1教室当り生徒数:	45~50人		
シフト数:	2部制	規定授業コマ数をこなせているか?:	いる		
授業時間:	1部:7:30-12:25 (2-②, 3-⑤, 4-③, 7-⑥, 8-⑥, 9-②, 10-②) 2部:13:00-17:00 (1-⑦, 2-④, 4-④, 5-⑤, 6-⑥) 3部:17:00-19:30 ノンフォーマル教育の授業				
施設状況:	・今年から3部の時間帯にノンフォーマル教育の授業を実施 ・ロビーを教室として使用 ・2005年になって11年制になったら間違いなく3部制になる				

【就学状況】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	10学年
生徒数	240	235	196	264	269	277	280	255	104	80
クラス/担任数:	7	6	5	7	5	6	6	6	2	2
越境通学者:	6	5	4	3	6	3	5	4	3	3
退学者数:	2	3	2	3	1	1	-	-	-	-
留年者数:	3	2	5	6	5	3	3	3	4	-

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
生徒数:	1,300	1,553	1,800	2,013	2,200
クラス数:	40	42	49	49	51
教員数:	50	55	62	64	68

【新入生の入学年齢】

6歳	7歳	8歳	9歳以上
2.1%	33.3%	58.3%	6.3%

準備コース:	春学期
入学制限:	特に無し(但し特別クラスは選考試験に受かった生徒のみ)

【進級・進学状況】

中学進級	91-92%	高校進級	52%
大学進学	90% (国立と私立半々)		

【教員】

教員数:	70
女性教員:	50
男性教員:	20

	有資格	無資格	計
クラス担任:	37	15	52
教科担任:	18	0	18
その他:	0	0	0

2003年度教員増員数:	4人
平均応募倍率:	—

資格にこだわらず採用し、これから資格試験を受けてもらう

【特別クラス】

設置:	あり	1クラス当り生徒数:	35人	設置状況:	
選考方法:	選抜試験あり	回収状況:	100%	教科	設置学年・クラス数
学費徴収額	今年から1人25,000円徴収予定			1 数学	1-8年 各1クラス
学費使途:	特別クラス教員の給与(40%) 教材(60%)			2	
備考:	1年で入ると自動的に進級する			3	
				4	
				5	

【学校運営維持管理】

学校運営委員会:	あり (2002年設立)	施設メンテナンスの実施状況:	
ミーティング:	年2回	【清掃】	
メンバー:	9名:保護者(1)、教員(3)、生徒(1)、区役所(1)、市 教育局(1)、企業(2)	・清掃員10名が共用スペースと小学生教室を清掃	
役職:	委員長(1)、会員	・教室清掃は中学以上の生徒が毎日実施	
		・各教室に清掃用具有り(その他の用具は学校の予算で配備、校長が管理)	
		【施設改修等】	
保護者会:	学校全体+各クラス		
ミーティングの頻度:	—		

【通学状況】

生徒:	通学時間は遠くても20分くらい
教員:	ウランバートル市内各地から通勤
通学状況:	第9、第10ホ口に住む子どもの殆どが39番学校に行く。
学区外通学(理由):	第8ホ口は学区には含まれていないが、受け入れている

職員住宅:	あり
学生寮:	なし

【授業以外の施設利用状況】

教員ミーティング: 総会: 年4回(学期間の休暇中に実施) 定例ミーティング: 2週間に1回、昼休みか授業後に実施
地域住民・企業による施設利用の有無:
なし

【ノン・フォーマル教育】

実施の有無:	あり	生徒数:	25-40
実施主体:	ADRAと39番学校共同	クラス数:	2
実施対象:	退学者、7歳から13歳の未就学児童(地区内&地区)		
時間帯:	17:00-19:30 (1年コース、但し3ヶ月のコースもあり)		
備考:	・今年で4年目 ・卒業試験後、学校に編入		

施設利用料の徴収:	—
------------------	---

【援助履歴】

保護者・地域住民・企業等のサポート:
・貧しい地域なので、資金援助なし ・物資の寄付はたまにある ・地元企業: 大会参加費の援助など

他ドナー・NGOによる協力:
・国会議員: 1クラス分の家具 ・国際NGO(名称不明): テーブル60、椅子120 ・ADRA: 貧困家庭の子どもに対する援助

【周辺地域状況】

周辺校:	57番校(1km/10~15分)、4番校(20分)	幼稚園:	2	未就学児童:	4人(第9ホロ)+3人(第10ホロ)
生活状況:	第9ホロ---一戸建て(ゲルより貧しい)、第10ホロ---ゲル集落 近くの市場で働く人が多い。失業率は40%くらい。		未就学理由:	・地方から移動してきたばかり	
人口状況:	第9ホロ---一戸建て 第10ホロ---1260世帯6130人(うち貧困世帯138) 市の中心部に近く、市場にも近いので、地方からの流入が激しい。		治安:	・道路の前のゲル集落は道路を横切って通学するのが危険だし、所属ホロも違うので受け入れない ・高校生の当番の生徒がゲル集落の周りを見回しする ・親になるべく送り迎えをお願いする	

【生徒・教員インタビュー】

	生徒	教員
施設状況: 1. 教室	・教室は特に問題ない。机も椅子も大体足りている(4年生) ・1クラス35~45人。40人以上だと狭く感じる。(8年生) ・2部制で教室を小学生と共有している。机・椅子が小学生用に作られているので使いにくい(8年生) ・外国語の特別クラスは英語とロシア語のどちらかを選択するが、教室が足りないために現在はロシア語の授業のみ実施。 ・クローキームはなく、教室内のフックを使用するが、フックの位置が高すぎて届かない子がいる(4年生) ・フックが足りないので、窓際にコートを置くが、光が遮られて教室の中が暗くなる。	・以前はクローキが地下にあったが、クローキは教室と会議室に転用し、各教室にフックを取り付けるようにした。 ・クローキが教室内にあるというのは子どもの健康にとって悪影響(理由: コートに付着した菌が伝染病をひきをこすため)
2. トイレ	・水が流れないのが一番困る ・水は自分でくまなくてはいけない ・座れるから洋式トイレの方がいい(座れるから)(4年生) ・使い慣れている洋式トイレがいい(8年生) ・男女共有でドアがあにので、見張りがいいと入れない	・教員トイレは1つあり。男女共有でドア・鍵あり ・ホワイーを通じて配水するため、断水が頻繁に起こり手を洗えない ・生徒用トイレは今年から男女別になる
3. 教員室	X	・教員室あり。ただし大きな会議用テーブルが1台あるのみ。 ・棚や保管場所はないので、担任教員は私物、教材、ノートなどは教室に保管する。教科教員は同僚の教室に置かせてもらうことが多い。 ・教員室のフックの数は非常に限られているので、使用できる教員はほとんどいない
通学状況:	・第11ホロからの通学者2名(理由: 39番学校が家から最も近い) ・その他遠くからのバス通学生2名(理由: 引越してからも通いながら39番校に通いたかった、引越し先の学校の教育の質が悪かった) ・通学時間: 5~30分	X
治安:	・帰り道は野良犬が怖い	
その他:	・図書館は狭くて全然人が入らない ・体育館は標準サイズではない、天井が低い ・保健室が無くて、校内に医者や看護師がいない ・午前シフトの方が午後よりいい	・クラブ活動の時間が18:00-19:00の1時間しかとれない。 ・過密は年々ひどくなっている ・バスに乗る時に大人用料金をとられないよう、今年から1年~6年に制服を導入した ・体育館が標準サイズではないために、ソフトテニスの特別クラスがあるのに困っている。